

# 公共施設を考えよう

～「安心して 学び、すごせる場所、そして地域の拠点となる学校づくり」のために～

## 1. 導入

### 1. なぜ、私たちが考える

子ども条例や子どもがど真ん中のまちづくりの観点から、子どもの意見を聴取する。

また、将来を支える児童・生徒たちに公共施設の現状や課題を理解してもらい、市政に関心を持ってもらう。

### 2. 公共施設とは

馴染みのある公共施設を例示し、公共施設とは何かを理解してもらう。

市税の仕組みや学校の行政コストから、公共施設の大切さや維持管理にかかるコストを理解してもらう。

### 3. 学校周辺の公共施設

クイズ形式で身近にある公共施設を例に挙げ様々な公共施設を認識してもらう。



### なぜ、私たちが考えるのでしょうか？

西東京市では、子どもの権利を守るため『西東京市子ども条例(ルール)』をつくりました。

その取り組みとして、市では“遊んだり、学んだりするために必要な居場所づくり”を、子どもたちの考えや意見を聞いて、参加できる場をつくっています。

そのため、この居場所づくりを、大人だけでなく**将来の西東京市を支える皆さんの意見を聞かせて欲しいと**考えました。

### 公共施設とは何でしょう？



公共施設とは  
**学校、公園、図書館、児童館など**  
**市民のために、税金で建てられた**  
**市民の皆さんが使う施設**

### 学校周辺には

**どんな公共施設**  
**があるでしょう？**

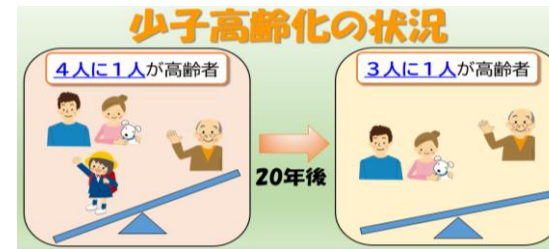


## 2. 主題

### 4. 公共施設を考える

進展する少子高齢化や公共施設の老朽化などの課題を理解してもらう。

- ① 少子高齢化 ⇒ ・ 税金が減少 ・ 医療や介護などの社会保障給付費が増加
- ② 老朽化 ⇒ ・ 27校のうち21校が老朽化(築40年以上) ・ 更新時期が重なる。



### 5. 他市事例・課題解決

他市の事例から、課題解決のひとつの方法として、複合化や集約化を説明する。

志木小学校の事例では、図書館と複合化したことで学校司書と市立図書館司書が連携し、図書の授業などの教育活動の連携が可能となった。

#### 他市の事例1 志木市立志木小学校



- 【事例1】
- ◆ 場所：埼玉県志木市
  - ◆ 名称：志木市立志木小学校
  - ◆ 目的  
志木小学校と、近くにあった公民館・図書館が老朽化していた。解決策として、これらを複合化することになった。また、子どもと地域が交流を持つことで、学習の向上を目的として建てられた。
  - ◆ 施設の機能  
① 小学校  
② 公民館  
③ 図書館

## 3. 討論

### 6. グループワーク

学校の方針に沿った方法で実施し、学校教育に寄与しつつ、学校を中心としたまちづくりを検討する。また、子ども目線からの学校と地域とのコミュニティについて意見を聴取する。

これまでの説明の内容をもとに  
**新しい学校のイメージをつくろう！**  
それでは、グループになって考えてみよう